

「スマートシティむさしの」をめざして

市民・事業者・行政（市）等の各主体による環境に関する取り組みや啓発活動を一層進めるとともに、各主体が一体となって省エネ・創エネ等を推進し、環境に配慮した生活への転換を促していく。

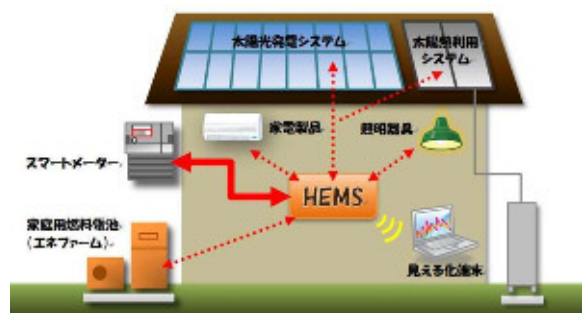
LEVELUP

1 エネルギー地産地消都市の構築

予算額 20,900 千円

① 効率的なエネルギー活用推進助成事業

市域の総エネルギー使用量を削減するため、住宅用のエネルギーマネジメント・省エネ・創エネ機器の設置費用の一部を助成する。



▲イメージ図



▲各家庭から回収した食用油

② 武蔵野油田事業

市民の環境配慮への動き・関心を促すことと、新しい都市型のエネルギー地産地消モデルを構築することを目的とし、家庭から使用済み・期限切れ食用油を回収する。

③ 太陽光発電システムの設置可能性および点検調査

平成19年度以前に市内公共施設へ設置した太陽光発電設備についての性能点検を実施し、適正な維持管理を行う。また、未設置の公共施設への設置可能性調査を実施する。

④ 公民連携による環境設備普及の研究

市民・事業者・行政等の出資するファンド等の活用可能性研究を行い、公民連携で環境設備の普及を図るしくみを検討する。

⑤ エネルギー地産地消の啓発

「スマートシティむさしの」を効果的にPRするために、低炭素社会実現へ向けた市の取り組みを体系化したうえでまとめ、自治体交流や市のイベント等で配布するための冊子を作成する。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

2 環境啓発施設の整備検討

予算額 5,475 千円

クリーンセンターの既存施設を有効活用した環境啓発施設「エコプラザ(仮称)」の開設を目指す。活用方法や運営形態等について全市的な議論を行うほか、環境や施設整備への関心を高めるためのイベント等を実施する。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

担当： 環境部環境政策課

☎0422-60-1841